

沖縄県で豚流行性下痢 (PED) が発生!

発生概要

通報日時

9月17日

発生場所

沖縄県本島中部地域

飼養状況

491 頭(種豚6頭、母豚80 頭、哺乳豚155 頭、子豚250 頭)

発生頭数

哺乳豚155 頭(うち死亡頭数 約75 頭)

遺伝子解析

ウイルス遺伝子は近年米国およびアジア諸国での流行株と遺伝学的に近縁(過去の国内分離株と遺伝学的に異なる。)

豚流行性下痢 (PED) とは

- 原因 豚流行性下痢ウイルス [届出伝染病] 監視伝染病です。
- 疫学 日齢や季節を問わず感染し、ウイルスは糞便中に排泄され、経口または経鼻感染します。若齢豚で症状が重く死亡率が高くなります。
- 症状 水様性下痢 と哺乳豚では嘔吐がみられます。
若齢哺乳豚は脱水により死亡率が高まります。母豚で泌乳減少や停止すると哺乳豚死亡の要因になります。
- 予防 衛生管理によりウイルスの侵入防止に努めてください。
単味生ワクチンと伝染性胃腸炎との混合生ワクチンがあります。

- ・車両消毒を徹底しましょう。
- ・農場に入る人・資材・豚の管理を徹底しましょう。(出入り制限、消毒、隔離舎)
- ・妊娠豚へのワクチン接種も効果的です。

飼養衛生管理基準の順守に努め、
異常に気づいたら、すぐに家畜保健衛生所に連絡してください。

飛驒家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/kachikueisei/hidakaho/>

